

「資格証明書でも診療は受けられる」(保健福祉部長)

「実態見ない答弁」 一神山県議が追及 6月定例

6月定例県議会報告

国保税払えない人への 減免制度の適用を

国保税について、国保世帯の約20% が滞納となっている実態をふまえ、払 えない人への各種軽減制度の積極的活 用をするよう求めました。「資格証明 書でも診療は受けられ、診療機会を奪 うことにはならない」との答弁は全く 実態を無視するものです。



一般質問に立つ神山県議

社会福祉施設に

指定管理者制度を導入すべきでない

指定管理者制度の導入について、特に社会福祉施設への導入を すべきでなく、また導入にあたっては、議会への報告と個人情報 保護を義務づけるよう求めました。

歴史教科書採択は憲法、教育基本法に沿って採択を

来年度から使用する教科用図書の選定について、県教育委員会があらたに選定基準を大幅に見直し、数値化したことは問題です。 県民レベルでも中国や韓国との友好・交流事業が進んでいることをふまえれば、過去の歴史認識を共有していくことが大切となっ 6月定例県議会は、6月21日から7月6日までの16日間の会期で開かれました。一般質問には神山悦子県議が立ちました。 6月定例議会には、県の施設への指定管理者制度の導入を図る条

6月定例議会には、県の施設への指定管理者制度の導入を図る条例改正案が20件、市町村合併にともなう廃置分合などの議案が審議されました。

7月6日の最終日には、反対討論に長谷部議員が立ち、県の社会福祉施設、教育文化施設への指定管理者制度の導入に反対、当日提案された人事案件1件を含め12議案に反対しました。意見書6件は全会一致で採択されました。党県議団が紹介議員となった請願2件、「妊婦健診の無料化を求めることについて」(新婦人県本部提出)、「重度心身障がい者医療費補助事業の『見直し』をやめ、入院給食費を自己負担とすることの撤回を求めることについて」(県社保協提出)は継続審査とされました。

ており、過去の戦争を賛美している「新しい歴史教科書をつくる会」 の歴史、公民教科書を採択すべきでないと主張。

介護保険「見直し」法で、サービスさらに受けにくく

介護保険制度見直し法が成立し、要支援、要介護1の高齢者が「新予防給付」へ移行され従来の訪問介護サービス給付などからはずされるのは、25,000人程度(7~8割が移行したとすれば)となり、ホテルコスト代の自己負担については、月最低3万円以上の負担増になることが明らかとなりました。

指定管理者制度導入を「3大切りすて」の手段とせず県の責任で運営を —— 長谷部県議が反対討論

公共部門へ市場原理持ち込む

これまで自治体の施設の管理は、 自治体による直営または公共的団体 に限定されていました。

「官から民へ」と、公共部門にも市場原理を持ちこみ、「住民の福祉を増進する目的」(地方自治法第244条1項)で自治体が税金でつくった施設の管理運営を、民間企業にも開放しようとするものです。



反対討論する長谷部県議(7月6日)

促進を仕事にしています。職員は非常勤嘱託・臨時職員10数人を含めて30人程度です。

指定管理者制度導入の目的に「行政経費の節減」があり、このセンターの規模であれば人件費削減以外になく、専門職員の養成を位置づける県の方針と矛盾するのではないか、業務の継続性・安定性が確保できないではないかと問題点を指摘しました。他会派の議員も、長谷部県議の発言を受け、「なにがメリットなのか明確でない」と執行部に対し疑問を呈しました。そればかりか、委員会終了後、ある自民党議員は、担当職員に対し、「県直営でやるべきだ」と詰め寄る始末です。

他会派は討論もなく容認

長谷部県議は議会最終日に、このセンターや特別養護老人ホームな

どの社会福祉施設と、アクアマリンなどの 生涯学習施設には指定管理者制度を導入す べきでない、と反対討論しましたが、賛成 討論はなく、2人の共産党議員の反対だけで、 指定管理者制度導入議案はすべて可決され ました。



自民党議員さえも

「県直営で」と

長谷部県議が所属する企画環境委員会では、二本松市にある県男女 共生センターへの指定管理者制度導入のための条例改定案を審査しま した。このセンターは、男女ともに個人として尊重され、互いにささ え合い、共に責任を担う社会の実現をめざす施設です。そのために、 情報の発信や、講座・講演会による自立促進、さまざまな団体の交流

日本共産党

県 政 報 告

2005年8月

日本共産党福島県議会議員団

〒960-8065 福島市杉妻町4-16 電話:024-521-7618 FAX:024-523-3256 Eメール:jcpfskg@jcp-fukushima.gr.jp



神山悦子県議

(郡山市選出) 商労文教常任委員 議会運営委員



長谷部淳県議

(いわき市選出) 企画環境常任委員 次世代育成支援特別委

日本共産党県議団ホームページをぜひご覧ください http://www.jcp-fukushima-pref.jp





談合摘発企業JFEエンジニアリング(旧日本鋼管と川鉄)が落札

共工事の安全見直しと入札制度の抜本改善を

・歩間違えば大惨事

6月9日夜9時28分頃、金山町地内の旧橋りょうの撤去工事中に、 JR只見線の列車に橋桁が落下する事故が発生しました。幸いけが人が いなかったものの、一歩間違えば大惨事です。

現地調査に基づき県へ申し入れ

党県議団は、現地調査を6月18日に行い、20日県へ申し入れまし た。役場内に設置された県と町の現地対策本部を訪ね県の出先職員から 説明も受け、撤去工事手順の計画書では、つり橋の真ん中から始めるこ

とになっていたのを、なぜ か対岸側の先端の方から行 われたこと。なぜ手順を変 えたのか、誰が変更を認め たのかについては、警察の 調査中を理由に不明としま した。地元金山町の青柳議 員と三島町の斎藤議員、只 見町の三瓶議員の3人の案 内で事故現場へ。列車は前



日撤去され、そのせいか橋は全体に下がっていました。コンクリ トをはがして今回の事故を招いたと思われる先端部分ははねあがり、 すぐそばでは作業員1人が監視していました。新しい橋は03年に 完成していますが、県の林道である橋の架け替えの必要性について 住民からは疑問の声もあったそうです。

談合摘発されても同じ業者で続行

農林水産部長への申し入れでは、工事を請け負ったJFEエンジ ニアリング(株)が談合疑惑で摘発されたばかりであり、その点か らも県のあり方が問われると指摘。県は指名停止処分にしたといい ながら、撤去工事はこの業者が続行します。JFEは新旧の工事の どちらも落札し、計10億円の仕事でした。入札結果を調べたら、 新橋工事は95.67%の落札率、撤去工事の方は全ての業者が予 定価格を下回り、JFEはさらに低い価格で78.32%の落札率。 一般競争入札の形をとっていても不自然です。

過去5年間で平均95%の落札価格

県の過去5年間の1億円以上の鋼鉄製橋梁工事(土木部、農水部) の落札率は約95%となっており、国や道路公団と同じように談合が 繰り返されていることは確実です。

児童福祉司を増員し、郡山センターの早急な独立を

児童相談所体制の強化を

福島県は、今年4月より児童福祉司を5人増員し31人となりました。 増員されたのは、福島市にある中央児相の本所に2人、会津若松市に ある会津児相の本所に2人、いわき市にある浜児相の本所に1人です。 国の児童福祉法施行令が改正され、今年4月から児童福祉司の配置基 準が「人口10万~13万人に1人」から「5万~8万人に1人」に変更され ました。県は、今度の増員で一応の基準を満たしましたが、それでも 人口比で最も多く配置している青森県の半分の人数です。

虐待の対応だけで手がいっぱいの状態

今の人数でいったいどれだけの相談を受け付けたのかといえば、年 間5,000~6,000件、1人あたり205件です。虐待の受付件数は年間200 件ですが、ほとんど虐待の対応だけで手一杯というのが実態です。

郡山は独立した児童相談所とすべき

郡山相談センターは、何度も質問で取り上げ2002年度にようやく「相 談センター」に格上げされました。しかし、児童の措置を決定する最 終判定は今も福島市で行われ、子どもも福島市の児相で保護されると いう構図は変わらず、中途半端な位置づけのまま3年目を迎えました。 ここを「独立」させるためには、一時保護施設も必要ですが、その検 討さえしていないことが答弁で明らかになりまし

あまりのすれ違いの当局答弁には、他の県議から も批判のヤジがあがるほどでした。



6月定例県議会に向けて要望事項を申し入れる 神山、長谷部の両県議 (5月31日)

「もったいない」は税金の使い道を監視するスローガンに

6月定例県議会の最終日、7月6日に「もったいない運動ふくしま宣言」を全会一致で 採択しました。

全議員提案の決議として自民党から案が示されましたが、そもそもはノーベル平和賞 を受賞したケニアの環境副大臣、ワンガリ・マータイさんが国連で「もったいない」と いう言葉を使い、ゴミ減量化などを呼びかけたことに由来する運動です。そのこと自体 は意義のあることですが、マータイさんは、最大のムダとして軍事費を上げており、党 県議団としても県政のムダ遣いを一貫して追及してきた立場から、この運動を県民に我 慢を強要する運動にしないためにも、行政自らも率先してムダ遣いをなくす努力をすべ き内容を追加すべきと申し入れました。この点で修正が不十分ながら取り 入れられ、党県議団としても賛成し、全会一致で決議されました。

「もったいない」は、税金の使い道を監視するスローガンにしましょう。



展示用教科書を見る神山、長 谷部県議 (6月21日)

めい人洋 等 本 戦史い 書扶 まの戦 侵 に的争観 ま耐は桑 人放棄、 せ 犠 争 原 略 反 放が 牲 の爆戦対 L 犠 て 尊 性者や太の反省が でも書 ア \mathcal{O} には い重 民 \mathcal{O} 反ま 主 中 科 2 千 なっ 憲 心 書

さはま書の教しの 委出会 しのは、 は月 ぱ科 た特 県 10 しを わからず、の質的なは 初ま カコ し、数値 めて各教 要政 望書 \bar{o} 値 特 化

→・公民教科書が ・公民教科書が ・公民教科書が **4**月 したた 歴史 \mathcal{O} 歴史 σ

つそう

戒